

第 21 回コラボレーション・プラットフォーム 開催レポート

「第 21 回コラボレーション・プラットフォーム」を開催しました。

当日は、多数の方々（171 名）にご参加いただき、大変盛況な会合となりました。

多数のご参加、ありがとうございました。

◆開催概要◆

日時：2022 年 1 月 14 日（金）14：00～17：15

場所：オンライン開催（Cisco Webex）

主催：経済産業省 / 独立行政法人情報処理推進機構

◆開催レポート◆

テーマ『サプライチェーンを標的とするサイバーセキュリティリスクへの課題と対応策』

冒頭、IPA セキュリティセンター センター長 瓜生 和久より開催のご挨拶をいただきました。

1. 講演

（1）トピックス紹介『最新の米国政府機関におけるサイバーセキュリティ対策の動向

ーソフトウェアサプライチェーンのセキュリティ強化に向けてー』

NTT データ先端技術株式会社 フェロー 三宅 功 氏

米国では、従来からサプライチェーンに対する情報セキュリティリスクが重要度の高いものとして様々な対応がとられてきている。昨年 12 月に SolarWinds 社の Orion が侵害され大規模なソフトウェアサプライチェーン攻撃が発生。これを深刻に受け止めた米国政府では 5 月に大統領令を発出、米国政府機関及び重要インフラ組織におけるサイバーセキュリティ対策の再検討が指示され、現在実施されつつある。SolarWinds 社の事案と大統領令の概要とともに、現在進行中の NIST によるサプライチェーンに対するセキュリティ対策の概要を共有。組織におけるセキュリティ対策の関係者、責任者が学ぶべきポイントをまとめていただきました。

（2）講演（1）『(仮)日本自動車工業会におけるサイバーセキュリティガイドラインについて』

一般社団法人日本自動車工業会 総合政策委員会 ICT 部会

サイバーセキュリティ分科会 分科会長 古田 朋司 氏

部品サプライチェーンセキュリティの事例として自工会が策定したサイバーセキュリティガイドラインの紹介と中小企業群のセキュリティ対策の現状について共有いただきました。

（3）講演（2）『サプライチェーンセキュリティの現状課題と対応』

三井物産セキュアディレクション株式会社 執行役員 関原 優 氏

地域の中小企業から大企業のグループ企業までサプライチェーンのセキュリティ対策を支援するなか

で、昨今の脅威認識と企業経営者や担当者との交流から見える現状について共有いただきました。

(4) 講演 (3) 『関連活動紹介』

(4) -1. 『サプライチェーン・サイバーセキュリティ・コンソーシアム (SC3)のご紹介』

日本電気株式会社 サイバーセキュリティ戦略本部 エグゼクティブエキスパート 武智 洋 氏

(4) -2. 『お助け隊関連情報紹介』

IPA セキュリティセンター 企画部 副部長

兼中小企業支援グループ グループリーダー横山 尚人

中小企業を含めた日本の産業サプライチェーン全体でのサイバーセキュリティ対策を促進することを目的に一昨年発足した民間組織「SC3」の活動内容を紹介するとともに現在、中小企業向けセキュリティの中心である「お助け隊サービス」関連活動について説明いただきました。

2. パネルディスカッション

テーマ：『サプライチェーンセキュリティ対策を実効性のあるものにするためには』

<モデレータ> 株式会社FFRIセキュリティ セキュリティサービス本部長 丸山 司郎 氏

<パネリスト>

NTTデータ先端技術株式会社 フェロー

三宅 功 氏

一般社団法人日本自動車工業会 総合政策委員会ICT部会

サイバーセキュリティ分科会 分科会長

古田 朋司 氏

三井物産セキュアディレクション株式会社 執行役員

関原 優 氏

日本電気株式会社 サイバーセキュリティ戦略本部

エグゼクティブエキスパート

武智 洋 氏

上記のパネリストの方々にご登壇いただき、上記テーマに関してディスカッションをしていただきました。中小企業群のサイバーセキュリティ対策について各講演で紹介した業界団体内での調査結果や実際の企業から聞こえてくる生の声、国が支援する施策等から見えてくる課題とその対応策について有識者の方々による意見交換を行っていただきました。サプライチェーンセキュリティにおける対応策の基本は「資産の棚卸とリスクの見える化だ」との共通意見でした。

以上